

簡易な収入見込額の申立書 ※支給要件が「Ⅱ家計急変」の方のみ提出が必要です。

私（申請・請求者）は、食費等の物価高騰の影響により、収入が減少したことを申し立てます。また、以下に記載した申請・請求者及び配偶者等の収入について事実と相違無く、内容の確認に必要な追加書類を求められた場合は、速やかに提出いたします。

なお、今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではないことも併せて申し立てます。

令和 年 月 日 申請・請求者氏名 ()
 配偶者等氏名 ()

※申請・請求者及び配偶者等の氏名はそれぞれが署名してください。

令和5年1月以降の任意の月の収入（1か月）の内訳及びその合計額をご記入ください。

①申請・請求者分（令和 年 月分）

収入	給与収入【A】		円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類を添付してください。
	事業収入又は不動産収入【B】		円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類を添付してください。
	年金収入【C】		円	※公的年金収入（非課税除く）がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類を添付してください。
収入合計額【A + B + C】			円	※【A】【B】【C】の合計額をご記入ください。

※複数の職に就いている方は、全ての収入について記入してください。
 ※上記以外の収入については記入不要です。

↓ × 12

※申請時点で下記に該当する場合は○を付けてください。

年間収入見込額（申請・請求者）【D】		円	障がい者 / 未成年者 / 寡婦・ひとり親
--------------------	--	---	-----------------------

②配偶者等分（令和 年 月分）

収入	給与収入【E】		円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類を添付してください。
	事業収入又は不動産収入【F】		円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類を添付してください。
	年金収入【G】		円	※公的年金収入（非課税除く）がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類を添付してください。
収入合計額【E + F + G】			円	※【E】【F】【G】の合計額をご記入ください。

※複数の職に就いている方は、全ての収入について記入してください。
 ※上記以外の収入については記入不要です。

↓ × 12

※申請時点で下記に該当する場合は○を付けてください。

年間収入見込額（配偶者等）【H】		円	障がい者 / 未成年者 / 寡婦・ひとり親
------------------	--	---	-----------------------

※申請時点における扶養人数を記入してください。

③扶養人数 ※上記で算出した「年間収入見込額」【D】と【H】の金額を比較し、どちらか高い方の扶養人数を記入してください。

配偶者扶養（有・無） + 配偶者以外の扶養 _____人 = _____人

(例) 申請・請求者が配偶者等と児童3名を扶養している場合、配偶者扶養は「有」に○を付け、配偶者以外の扶養は「3人」、合計は「4人」とご記入ください。

支給対象限度額

※ 限度額は、下の早見表から、申請・請求者の申請時点の「扶養人数」にあてはまる金額となります。
 ※ 申請・請求者が申請時点で、障がい者、未成年者、寡婦・ひとり親の場合は、非課税収入限度額は204.3万円となります。
 ※ 給与収入、事業収入等、いずれの収入についても以下の早見表をご確認ください。

<早見表>

上記「③扶養人数」の合計人数	非課税相当収入限度額
1人	156.0万円
2人	205.7万円
3人	255.7万円
4人	305.7万円
5人	355.7万円

(注) 扶養人数とは、申請時点での以下の合計人数です。
 ・ 同一生計配偶者（年間収入金額103万円以下の者）
 ・ 扶養親族（16未満の者も含む）